

さくら

やさしく かしく たくましく 笑顔かがやく城西の子

学校だより R3. 7. 1

宇都宮市立城山西小学校 市川 文人



「宇都宮で1番！」は「読書で1番！」

昨年度から開始した全児童で「宇都宮で1番」を目指す取組みは、今年度は「読書で1番」を目指すことになりました。この目標は、各学年で話し合った結果を踏まえ、児童の実態や育てたい力、現在の社会状況等から総合的に判断して設定しました。

そして、昨日の朝会で、今年目標を以下のように伝えました。

☆目標「読書で1番 城西小」

① 読書の量で1番！

- ◎ 107人全員で5,830冊の「古賀志読書山」の頂上を目指そう。
- 【期間…7/1(木)～10/31(日)の4か月】



② 読書の質で1番！

- ◎ すてきな本に出会うこと
- ◎ 大好きな本に出会うこと

良書との出会いを児童の発達段階を考慮し、二通りの表現で伝えました。



出会えたら



読書金メダル



読書の木

読書の効果は、「語彙や知識が増える」「読解力が付く」「表現力が高まる」「創造力が磨かれる」「ストレスが解消される」等、様々です。そして、何よりも、読書は私たちの心を豊かにしてくれ、一人一人の心に栄養を与えてくれます。「読書で1番」を目指しながら、心の栄養をたっぷりと吸収し、「豊かな心」で日々の生活を楽しんでいきたいと思います。

水泳学習

6月1日(火)の「プール開き」から、早1か月が過ぎました。広いプールを目の前に困惑気味だった1年生も、少しずつ水に慣れてきました

「プール開き」の日を迎えるまで、プール内清掃は機動班の方が、プールサイドの除草や更衣室・トイレ等の清掃は、5・6年生や手塚洋次先生、「ちょこボラ」(ちょこっとボランティアの略)の皆さんが、作業に当たってくださいました。陰で支えてくださっている方々に心より感謝申し上げます。



「ちょこボラ」の皆さん

今年は、7月21日(水)までが水泳の学習の期間となりますが、子供たちはそれぞれの目標を立て、その達成に向けて熱心に練習を重ねています。

5年生の大久保蓮さんは、「水泳検定」に果敢に挑戦し、クロールと平泳ぎで100m泳ぐことができ、見事に1級に合格しました。現在は、目標タイムを自ら設定し挑戦を続けています。

本校の重点目標の一つとして、「挑戦する」「がまんする」「諦めない」児童の育成を目指しています。水泳の学習を通して、技能の向上とともに諦めずに挑戦し続けるたくましい心を培ってまいります。



初めてのプールにドキドキの1年生

GIGAスクール情報！

6月は、ICT 支援員や担任とともに、タブレットにデジタル教科書をインストールしました。1～4年生は算数、5・6年生は外国語の教科書です。

ID やパスワードを自分で入力して先に進んでいくと、いつも見慣れている教科書の表紙が出てきました。うまく教科書の画面が出てくると、子供たちは問題をクリアしたような達成感を感じていました。

算数では、早速、計算問題を解いて数字を書き込んだり、おはじきやブロックを

動かして考えたりしていました。自分の思い通りに画面が動くと、「わあ」と声を上げ、楽しみながら学習に取り組んでいました。

外国語では、チャンツを聞いたりクリップ動画を見たりしながら、文化の違いに気付き、外国への興味が増したようです。これからの授業での活用が楽しみです。

なお、二回目のタブレットの持ち帰りは、7月8日(木)を予定しています。ご協力をお願いいたします。



農園活動

給食農園の活動が盛んです。6月2日(水)には、4年生がニンニクを、続いて7日(月)には3年生が玉ねぎ、そして、28日(月)には、6年生がジャガイモを収穫しました。いずれも豊作で、採れた野菜は給食でおいしくいただいています。

今年は、清掃の時間、学年ごとに農園に足を運び、輪番で除草作業を行っています。自分たちの手で世話や手入れをした野菜が新鮮なまま給食で食べられるので、その味も格別です。

また、安全でおいしい給食を提供するために、給食農園を管理している手塚洋次先生と野菜を工夫して献立に取り入れている船山裕子先生、そして、素材の良さを活かした調理をしている三人の調理員さん(伊藤真由美さん、佐藤千晴さん、手塚優果さん)が互いに連携しながら作業を進めています。

今後、5年生がサトイモ、1・2年生がサツマイモを収穫する予定です。日々の手入れを怠らず、栄養たっぷりの野菜を育てていきます。



演劇鑑賞会

6月16日(水)に、演劇鑑賞会が行われました。

今回は、劇団「らくりん座」による新作「いっしょにこころ」を披露していただきました。この劇は、グリム童話「ブレーメンの音楽隊」を基にした物語です。

午前と午後に分かれて鑑賞した子供たちは、迫力のある演技と軽快な音楽、素敵な歌声にすっかり魅了され、楽しいひと時を過ごすことができました。

6年の松崎龍太郎さんは、児童代表あいさつの中で、「ロバが、皆を勇気づけていたところに感動しました。歌も素晴らしく、皆さんの発声の仕方を自分の歌い方に活かしたいです。」と、述べていました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、107人の児童数にも関わらず、二回に分け熱演を披露してくださった「らくりん座」の皆様、本当にありがとうございました。

